

## 平成27年度市民対話集会（第1回）

- 1 日 時 平成27年7月22日(水) 19時～20時
- 2 場 所 勤労青少年ホーム
- 3 出席者 市民：竜王地区自治会合同会議（竜王一～四区）役員33人  
市：市長、副市長、企画政策部長、秘書政策課長、総合政策係3人  
傍聴：1人
- 4 対話テーマ 「甲斐市の10年後を見据えて～第2次甲斐市総合計画～」
- 5 対 話

問 総合計画の成果指標はどの程度達成されているか。

答 成果指標は現在調査中であり、具体的な数字を出せないが施策の評価は行っている。

問 目標をどのくらい達成したか見えない。

竜王地域のまちづくりは民間主体で道路が迷路のようである。

下水の工事が終わっても接続をしていない人がいる。

敷島田富線の進捗状況を示してほしい。

答 総合計画の目標の達成状況については現在調査中である。

竜王地区まちづくりは旧町時代からの課題であり、努力している。

下水道の接続については、強化月間を設けてチラシを配布するなど、接続のPRを行っている。

敷島田富線については、県が地元説明会や事業設計を行っている。道路整備については、市では大きな道は造らないが少しずつ整備していく。

問 高齢者が増える中で車を運転しなくても甲府に行けるようにしてほしい。

リニア新甲府駅とのつながりはどうするか考えているか。

答 車が無くても生活できるようにしたいが、予算の問題で道路に金をかけるのは難しい。側溝の蓋掛けなどで対応していきたい。

リニア駅は、甲府に駅ができるなら甲斐市が負担する必要は無い。リニアは県が負担すべき。

問 具体的に第一次計画の成果が見えるようにしてほしい

答 成果指標は広報誌にも毎年掲載している。チェックをかけながら進めていきたい。

問 第一次計画の検証は具体的にどのように行っているのか。また、市民を巻き込んでいるのか。

答 第二次作成にあたり一次の成果を見極めるため、事業所アンケートや対話集会等を行っている。  
8月にも市民対話集会やまちづくりのワークショップを行う。総合戦略の策定に向けてもアンケートを行っている。